



東京女子医科大学学術リポジトリ
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>

テュートリアル課題 のどが渴く

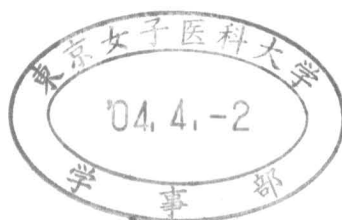
著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2004
号	B3
発行年	2004-03-10
URL	http://hdl.handle.net/10470/213

2004年度

Block 3 テュートリアル課題

課題番号 3

のどが渇く



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

第三内科学

シート 1

佐藤さんは 28 歳の独身男性。今年の夏は非常に暑かったためか、のどが異常に渇きコーラなどの清涼飲料水を大量に飲みました。しかし、のどの渇きは改善せず、夜間に水を飲みに起き、排尿のためトイレへ行く回数が増えました。

【抽出を期待する事項】

のどが渇く（口渇）

夜間に水を飲む：多飲

排尿のためトイレへ行く回数が増えた：多尿、頻尿

清涼飲料水

シート 2

佐藤さんは昨年ของบริษัท検診で尿糖陽性と血糖値が高いことを指摘され、二次検診を受けるように指示されましたが、元気に仕事もできるので大したことはないと思い、放置したことを思い出しました。しかし、佐藤さんは仕事が忙しかったので、今回もすぐには病院を受診しませんでした。

【抽出を期待する事項】

尿糖

血糖値

二次検診

シート3

ある朝、佐藤さんは体がぬけるようにだるく、起き上がることが出来ず、頭もぼんやりしているため、友人に病院へつれていってもらおうと電話しました。友人は迎えに行った時、部屋が何となく甘酸っぱい臭いがすることに気付きました。病院で担当医は検査結果を見ながら「直ちに入院治療が必要です」と言いました。

【抽出を期待する事項】

糖尿病ケトアシドーシスの症状：体がぬけるようにだるい(全身倦怠感)

頭もぼんやりしている

甘酸っぱい臭い

糖尿病ケトアシドーシス

清涼飲料水ケトーシス、ケトアシドーシス

資料1 から：高血糖

ケトン体

動脈血ガス分析

β -ヒドロキシ酪酸

シート 4

入院治療により血糖値は改善し、退院前にブドウ糖負荷試験を行いました。佐藤さんは身長 168cm、体重 82kg と肥満があったため、主治医から食事療法を指示されました。母親が糖尿病であり、今回の出来事にこりた佐藤さんは、今後食事に気をつけ、清涼飲料水を飲むのを止めようと決心しました。

【抽出を期待する事項】

ブドウ糖負荷試験

肥満

食事療法

母親が糖尿病・遺伝

糖尿病の判定基準

糖尿病の診断手順

インスリン分泌

資料 1

検査結果：

尿：糖 (+++)、蛋白 (-)、ケトン体 (++)

血糖値 564mg/dl、HbA_{1c} 16.8%

動脈血ガス分析 (room air)：

pH 7.17 (7.38-7.41)、PaO₂ 87Torr (80-100)、

PaCO₂ 29Torr (35-45)、HCO₃⁻ 8.9mEq/L (23-27)、

β-ヒドロキシ酪酸 1,385μmol/L (100 以下)

資料 2

ブドウ糖負荷試験 (75g OGTT)

	前	30 分	60 分	120 分
血糖値 (mg/ dl)	103	183	172	152
尿糖	—	—	+	—
インスリン (μ U/ ml)	16	63	85	92